

特別支援学校での介護等体験を終えて私は2つのことを学びました。

1つは、コミュニケーションの難しさです。コミュニケーションは主として会話で行いますが、特別支援学校に通う生徒の中には言葉が全く話せない生徒や、話すことが難しい生徒が多く、初めの頃はどのように接していけばよいのか、どのような方法でコミュニケーションを取ればいいのかととても悩んでしまい、積極的に行動することができませんでした。

それらの問題を解決するために、私はまず先生方と生徒との接し方を見て学び、積極的にメモを取るようになりました。先生方も同じく生徒の伝えたいことを理解することは出来ないそうでしたが、それでも先生方は常に誰かに話しかけているような印象を受けました。完璧な意思疎通ができなくても、生徒は常に話しかけられることによって安心するのではないかと思いました。

また、言葉だけではなく、表情や目線によってもコミュニケーションがとれることを学びました。

そしてもう1つは、直向きさです。生徒は何でも一人で出来るわけではありません。それでも先生方に指示されたことはどんなことでも一生懸命取り組んでいました。その姿勢を見て私は、生徒たちのようにもっと頑張らなければならないとい改めて思うようになりました。

特別支援学校の生徒や先生方から多くのことを学び、貴重な経験をさせていただき、少しではありますが、自分自身を成長させることが出来たと思います。

以上